10億円以上30億円未満

30億円以上

事業に関心がある

2億円以上5億円未満

2億円未満

30億円以 F

2億円以上5億円未満

5億円以上10億円未満

10億円以上30億円未満

経営者の関心度と完工高

■関心がある

■ I C T 活用施工の実績有り

■社外の講習会・見学会に参加

■ドローンを所有

| CT活用施工に関する取組(複数回答)と完工高

ICT活用施工を条件とした発注への対応と完工高

■消極的な回答が160社(60%)、条件付きを含めた参加は96社(36%)

■完工高が多いほど参加の割合が増加する傾向がみられる

■やや関心がある ■関心は無い ■その他

ICT建機を所有

■社内に研究会・勉強会を組織

11% 1%

10%

7% 3%

# 必要な事業量の確保について



国、県、市町村等の発注機関が発表した「平成27年 度発注見通し工事」等から公共工事受注見込み額 は、平成26年度の受注実績に比べて?

■平成27年度 減少した事業量に対する危機感の表れ ■県内各地から事業量減少の声

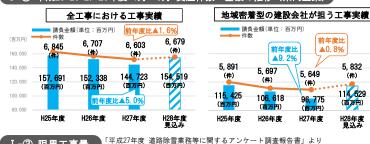
#### 受注ゼロ 10社(3%) .6割減 6社(2%) 同程度·1割 5割減 25社(8%) 以上增加·不 75社(25%) 17社(6%) 3割減 1割減 55社 75%の企業が 2割減 32社 (19%) 62計 受注ゼロまたは 減少予想

\_7割減 14社(5%)

# 平成27年度 完工高別会員数

完工高	会員数	構成比
2億円未満	60社	22. 4%
2億円以上5億円未満	74社	27. 6%
5億円以上10億円未満	52社	19. 4%
10億円以上30億円未満	59社	22. 0%
30億円以上/	23社	8. 6%
計 地域密着型企業点	268社	100.0%
<b>₩70</b> %		

### Ⅰ-② 平成25·26·27·28年度 4月~3月 受注件数・金額の推移(県内企業) 東日本建設業保証㈱データより



■地域密着型企業とは・・ □戦略的に動き回れない企業 □土木工事主体(治山治水、農林水 産、道路、下水道、公園、上工業 7 000 用水道、土地造成) □実際に災害対応を担う企業群 6, 500



#### I-③ 限界工事量 調査日:平成28年5月30日~6月10日 回答:277社中251社(回答率 90.6%) 除雪業務を担う体制を維持するには、

15%不足 16社(6%)

12計(5%)

9月7日 (水)

平成27年度の受注実績は何%不足していたか

59%の企業が 不足していない・ 「不足している」 未回答 その他 と回答 102社(41%) (149社/251社) 群馬の限界度数 10%不足

(左円グラフより) 「不足している」と回答した企業の 支部別割合(%)

限界度MAP

■戦略的に動き回れない中山間地ほど、 限界度数が高い(富岡、藤岡、渋川、 沼田、安中、吾妻)

【限界工事量】の定義:企業が人員や機械を維持するために必要な工事量。限界工事量を下回ると、建設業者に期待されている除雪や自然災害への迅速な対応に悪影響が出て

# 桐生支部 42 高岡支部 ■ 70(%)以上 69 (%) ~50 (%) ■ 49(%)以下

■限界工事量とは、災害対応を担うために必要なギリギリの事業量に対する考え方(理念)

#### ~平成28年9月 台風13号による災害への対応より~

■災害対応限界企業の具体例

して災害対応は無理

□事務員が雇えない

【9月7日 FNSニュース】

口作業員の高齢化

□応急復旧ができず、工事看板を

□企業の数ほど公共工事の数が無

□受注工事は2件までが限界、ま

■各企業の事業者は、皮膚感覚で限界工事量を常に把握している

い地域

### Ⅱ-① 土石流災害対応タイムライン:沼田市利根町柿平地区

AM 04:30 柿平住民から当地区長へ救援要請 04:51 沼田市から災害情報メール発信 06:30 利根町消防分団長到着 分団長より利根町建設業協会長に 災害派遣要請 PM 15:00 本格的な啓開作業 17:30 一時的な導水作業終了 9月8日(木 啓開・導水(水路の詰まり解消) AM 08:00 作業開始 越流の原因となった水路の詰まり を解消 作業終了(10tダンプトラック35 台分の土砂を場外搬出) 9月9日(金 作業開始(地元消防団員等約120 AM 08:00 名が人力による土砂出し作業) 啓開作業により集落の中心道路が PM 16:00

#### Ⅱ-② 災害対応のTwitter発信

- ■平成28年9月9日時点での台風13号に関する情報 □「ぐんケン見張るくん」への報告数 211件
- □Twitterへの投稿数 163件
- □反響の大きかった敷島駅北側踏み切りの土砂撤去の投稿 …14. 280人が閲覧
- ■平成29年3月16日現在のフォロワー状況
- □フォロワー数 2,369人 □メディアのフォロワー
  - · TBS社会部 · 毎日新聞前橋支局 · 朝日新聞前橋総局
  - 上毛新聞 ・建設通信新聞 ・日刊建設工業新聞 口自治体のフォロワー
- ・伊勢崎市 ・富岡市 ・前橋市 ・高崎市

# ■建設業協会員が発信する確度の高い情報で、地域の安心安全確保

に貢献 ⇒**地域貢献モデル** 







【9月8日 沼田地区】

### Ⅲ. 生産性向上に対する意識や取組の状況 ~ | CT活用施工を手がかりにして~

「ICT活用施工に関するアンケート調査報告書」より 調査日:平成29年2月7日~2月14日 回答:279社中268社(回答率 96%)

#### 〔Ⅲ−① ⅠCT活用施工への関心



■「非常に関心がある」「関心がある」「やや関心がある」の合計は、 経営者の立場は86%、技術者の立場は88% ■完工高が多いほど関心が高い傾向がみられる

## Ⅲ-② ICT活用施工に関する取組状況

#### | CT活用施工に関する今までの取組(複数回答)



■一方、「その他」の中で「未着手」との意見他が71社、無回答まで 含めると113社(42%)

### Ⅲ-③ ICT活用施工を条件とした発注への対応

#### 今、ICT活用施工を条件とした発注我あったらどうするか



■経費は増加し手間もかかるだろうが先行投資として参加したい

■参加したい

■その他

# 【 Ⅲ-④ ICT活用施工を取り入れるポイント

# 公共工事にICT活用施工を取り入れる場合、受注者として何が大事だと考えるか(複数回答)



■約6割の会社が「効果が発揮できる現場を選択」「技 術や機械を無理なく調達」「増加経費を発注者が負 担」「事務作業が増加しない」を選択

■生産性向上(ICT活用施工)への関心は高いが、地域密着型企業にまで企業文化として定着させることが さっくり言うとほう できるかどうかがポイント

### 人材確保育成は地域ネットワークから 人材確保·育成

# STEP 1:技能者育成

- ■建設業の人材不足を背景に、遊 休施設活用などの地域間連携を 図りながら技能者育成を行う訓
- ■平成28年4月4日 開校式 ■第1期入校者 27人
- (板金コース19人、瓦コース8人)

#### STEP 2:技能者·技術者育成 ■STEP 1 からの拡張型訓練施設 ■大工コース、設備コースの増設

(H29.4.1予定) ■ドローン教習施設の開校⇒地域 との連携の中で、危険箇所・災害 箇所の「見える化」への環境づ くりを目指す (H29.6.1予定)

#### STEP 3:技術者育成 ■ICT活用施工全工程研修施設の計画

■i-Constructionの基本的流れや最

新の基準・要領等を学ぶ座学 ■3次元起工測量、3次元設計データ の作成、ICT建機による施工などの 体験・実習







地域活性化

利根沼田

【沼田市デルタモデル】

めざせ!プロフェッショナル、30人の仲間たち デザイン: ㈱KMD

遊休施設活

過疎対策

ざっくり言うとはず ■デザインで廃校をよみがえらせる

■極端にスリム化した建設業協会員

作業終了(10tダンプトラック44

台分の土砂を場外搬出)

■人材確保· 育成と地域活性化をセットにして仕掛け続ける地域建設業 ⇒地方創生モデル